#### 『窓装飾プランナーBOOK』第4版 修正箇所

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
1章	10	図表 1-5 ウィンドートリート メントの市場規模(卸売ベ ース)	更新	(一般社団法人日本インテリアファブリックス協会が2020年に発表した最新情報に伴い、2017年度<平成29年度>~2020年度<令和2年度>の数値を掲載) →「図表1-5ウィンドートリートメントの市場規模」参照(本資料12ページ①)	(2015年度<平成27年度>~2018年度<平成30年度>の数値を掲載)
2 章	41 ほか	④-1 ヒアリングに使用する ツール	変更	現物カットサンプル (なお、変更は生地の現物サンプルの場合。 カーテンレール等は「現物サンプル」のまま 変更なし)	現物サンプル
	49	Case Study 病院や高齢者施設、保育園などのウィンドートリートメント※5	変更	病院や高齢者施設などでは、衛生面を重視し、抗菌、消臭、防汚など清潔を保ちやすい加工が施された生地を使用することが望ましい。制菌や散水障害にならないよう上部がメッシュ状になった医療施設向きホスピタルカーテン(医療カーテン)もある。	病院や高齢者施設などでは、衛生面を 重視し、抗菌、消臭、防汚など清潔を 保ちやすい加工が施された生地を使 用することが望ましい。制菌や通風など の機能性を持たせた医療施設向きの ホスピタルカーテン(医療カーテン)も ある。
	50	Case Study プライバシーを 守りたい場合は? 8 行目	変更	<mark>遮像機能を有する</mark> カーテンやロールスクリーンなどもプライバシー保護に役立ちます。	高密度の遮光生地を用いたカーテン やロールスクリーンなどもプライバシー 保護に役立ちます。
	52	Case Study 東向きの窓に は何を選ぶ?	変更	(前略)また、夏は朝から光が差し込んで、室内温度も上昇します。そのため、特に寝室では遮熱機能のあるシアーカーテン、遮光機能のあるドレープカーテンなど、窓装飾エレメントの機能を考えて選定します。	(前略)また、夏は朝から光が差し込んで暑くなりがちです。そのため、特に寝室では遮光効果のある窓装飾エレメントが効果的です。
	79	図表 2-37 決済方法	項目 追加	その他のキャッシュレス決済   スマートフォンなどに登録した各種 Pay サービス会社を利用した、バーコード、QR コードなどによるキャッシュレス決済(例:PayPay、LINE Pay、d 払いなど)	
	84 ほか	[6]アフターケア 3   クリーニング 本文 6 行目	変更	取扱い表示記号	取扱い絵表示
4章	128	[1]カーテンの特性 本文 17 行目	変更	既製カーテンは一定の寸法であらかじめ生産できること、一般的に生地の使用量が少ない 1.5 倍ひだ(プリーツ)の仕様であることから、オーダーカーテンに比べて低価格です。	既製カーテンは効率よく大量に生産できること、一般的に生地の使用量が少ない 1.5 倍ひだ(プリーツ)の仕様が多いことから、オーダーカーテンに比べて低価格です。
	144	図表 4-57 機能性カーテン の種類 遮熱カーテン	変更	太陽光による熱を遮る機能を持ったカーテン。素材に遮熱糸を使用したファブリックスなどを使い、熱を遮断する。	太陽光による熱を遮る機能を持ったカーテン。素材に遮熱糸を使用したものや、アルミ、ステンレスを蒸着加工したファブリックスを使い、熱を遮断する。
	144	図表 4-57 機能性カーテン の種類	項目 追加	抗ウイルス加工カーテン   ウイルスは細胞を持たず、栄養も必要とせず、自ら移動もしないが、ヒトの体の細胞に入り込むと細胞を破壊し、増殖する。抗ウイルス加工した製品はウイルスが触れた部分でウイルスの構造を変化させ、その効力を失わせる機能を持つ。不活化されたウイルスは感染力を失う。	
	144	図表 4-57 機能性カーテン の種類	項目 追加	遮像カーテン   特殊な形状の糸(異型 糸)を使用した、昼も夜も屋外からの視線を 防ぐ効果が高いカーテン。	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4章	144	図表 4-57 機能性カーテンの種類	項目削除		ホスピタルカーテン   制菌機能を持ち、散水障害にならないよう上部がメッシュ状になった医療施設向きのカーテン。医療カーテンと呼ぶ場合もある。
	147	2   洗濯の仕方 本文3行目	変更	カーテンには <mark>繊維製品取扱いに関する表示記号(P202 参照)が付いていますので、必ず取扱い表示記号に従って洗濯します。</mark>	カーテンには繊維製品取扱い絵表示 (P202 参照)が付いていますので、必ず絵表示に従って洗濯します。
	147	図表 4-64 名称	変更	取扱い表示記号の一例	取り扱い絵表示の一例
	149	図表 4-67(※第 4 版より図 表番号 4-66に変更) カー テンレールの構成要素 キャップ(フィニアル)	変更	ポールと同じ素材のほか合成樹脂などの素 材がある。	ポールと同じ素材のほか、クリスタル、 合成樹脂などの素材がある。
	149	[1]カーテンレールの構成 要素	図 追加	(カーテンストッパー 図追加) →「図表 4-70 カーテンストッパー」参照(本 資料 12 ページ②)	
	150	1  装飾性カーテンレール 本文最後	追加	最近は、天井に取り付けるシンプルで目立ち にくい形状のシーリングレールも登場してい ます。	
	150	図表 4-72 装飾性カーテン レール	図 追加	(シーリングレール 図追加) →「図表 4-72 装飾性カーテンレール(シー リングレール)」参照(本資料 12 ページ③)	
	152	図表 4-75 フックの種類	変更	(アジャスタフック 図変更) →「図表 4-75 フックの種類(アジャスタフック)」参照(本資料 12 ページ④)	
	152	[1]カーテンレールの操作方法     本文最後	追加	また近年では、Wi-Fi 環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品も、照明やテレビなどの家電製品と同じく、スマートスピーカー、スマートフォンなどで操作することができるようになりました。音声による非接触操作や、スマートフォンなどによる外出先などからの遠隔操作により、暮らしの利便性が向上しています。	
	154	図表 4-80 ローマンシェードの構成要素(シングルタイプ、コード式) 図表 4-81 ローマンシェードの構成要素(シングルタイプ、ドラム式)	変更	「ループレス式」を追加の上、シングルタイプをまとめて「図表 4-80 ローマンシェードの構成要素 (シングルタイプ)」と変更。構成要素に「④リターン」追加。 →「図表 4-80 ローマンシェードの構成要素(シングルタイプ)」参照(本資料 13 ページ(5))	
	155	図表 4-82 ローマンシェードの構成要素 (ダブルタイプ、コード式) 図表 4-83 ローマンシェードの構成要素 (ダブルタイプ、ドラム式)	変更	「ループレス式」を追加の上、ダブルタイプをまとめて「図表 4-81 ローマンシェードの構成要素(ダブルタイプ)」と変更。構成要素に「④リターン」追加。  →「図表 4-81 ローマンシェードの構成要素(ダブルタイプ)」参照(本資料 14 ページ⑥)	
	156	図表 4-84(※第 4 版より図 表番号 4-82 に変更) ロー マンシェードの操作方法	項目 追加 · 変更	「ループレス式」の項目追加 「ドラム式シングルタイプ」「ドラム式ダブルタ イプ」をまとめて「ドラム式」に変更 「電動式」の説明文追加 等 →「図表 4-82 ローマンシェードの操作方 法」参照(本資料 15 ページ⑦)	
	158	⑤ピーコックスタイル 5 行目	変更	生地にストライプ柄を使用すると個性的な視 覚効果が得られます。	生地は無地や柄ものが主流ですが、 ストライプ柄を使用すると個性的な 視覚効果が得られます。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	158	[5]ローマンシェードの素材注意点	追加	(改定前の4項目に以下3項目追加) ・天然素材の生地(気候や季節によって寸法が安定しないため) ・目の粗い生地(伸縮が大きく、仕上がりが安定しないため) ・刺繍の段差が大きい生地、金属が含まれる生地 (縫製時には刺繍などによる段差に注意する。また上下に昇降する際、金属などの付属部品が生地に影響を及ぼす可能性もある)	・チェックやストライプなど直線的な柄の生地(柄曲がりが目立つため) ・シアーなど透過性の高い生地(裏に縫い付けたテープが目立つため) ・ベルベット、風通などの厚手の生地(縫製が困難、美しくたたみ上がらないため) ・クラッシュ(シワ)加工された生地(ウエイトでシワが伸び寸法が安定しないため)
	161	1   ロールスクリーンの特性 5 行目	追加	操作方法にはプルコード式、ループレス式 (スマートコード式)、チェーン式、コード式 (ループコード式)、電動式があります。	操作方法にはプルコード式、チェーン式、コード式 (ループコード式)、電動式があります。
	162	図表 4-95 ロールスクリーンの構成要素(シングルタイプ、チェーン式)	変更	「プルコード式」「ループレス式」を追加の上、「図表 4-93 ロールスクリーンの構成要素(シングルタイプ)」と変更 →「図表 4-93 ロールスクリーンの構成要素(シングルタイプ)」参照(本資料 16 ページ・8)	
	162	図表 4-96 ロールスクリーンの構成要素(ダブルタイプ、プルコード式)	変更	「プルコード式」の図を「チェーン式」に変更 の上、「図表 4-94 ロールスクリーンの構成 要素(ダブルタイプ)」と変更 →「図表 4-94 ロールスクリーンの構成要素 (ダブルタイプ)」参照(本資料 16 ページ⑨)	
	163	方法 ド式、ループレス式(スマートコ	ロールスクリーンの操作方法には、プルコード式、ループレス式(スマートコード式)、チェーン式、コード式(ループコード式)、電動式などがあります。	ロールスクリーンの操作方法には、プルコード式、チェーン式、コード式(ループコード式)、電動式などがあります。	
	163	図表 4-97 (第 4 版では図表 4-95 に変更) ロールスクリ ーンの操作方法	項目 追加	ループレス式(スマートコード式)   左右 どちらかにある1本の操作コード(グリップ)でスクリーンを操作する方式。コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが下がり、上げるときはコード(グリップ)を軽く引くと巻き上がる。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	
	163	図表 4-97 (第 4 版では図表 4-95 に変更) ロールスクリ ーンの操作方法 電動式	追加	巻き取りパイプに内蔵されたモーターの力でパイプを回転させ、スクリーンの昇降を行う。一般的な窓や大型窓の場合、複数のスクリーンを一斉に操作する、またはその中の1台を単独で操作する、あるいは複数台を操作するなど、必要に応じた開閉が可能。さらに、高窓、天窓、傾斜窓など、手の届かない場所にも適している。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	巻き取りパイプに内蔵されたモーターの力でパイプを回転させ、スクリーンの昇降を行う。一般的な窓や大型窓の場合、複数のスクリーンを一斉に操作する、またはその中の1台を単独で操作する、あるいは複数台を操作するなど、必要に応じた開閉が可能。さらに、高窓、天窓、傾斜窓など、手の届かない場所にも適している。
	163	4   ロールスクリーンの素材 とデザイン 本文8行目	変更	ファブリックス以外では経木や竹などが使われます。	ファブリックス以外では経木や <mark>松、</mark> 竹などが使われます。
	164	図表 4-98 (第 4 版では図表 4-96) スクリーンの主な機能 抗菌防臭	変更	抗菌   細菌の増殖を抑制する機能	抗菌防臭   細菌の繁殖を抑え、防 臭効果を持たせる機能
	164	図表 4-98(第4版では図表 4-96)スクリーンの主な機能 防カビ	変更	抗カビ	防カビ

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	164	図表 4-98 (第 4 版では図表 4-96) スクリーンの主な機能	項目 追加	抗ウイルス   スクリーンに触れた特定のウ イルスを不活化する機能 水拭き   水拭きすることができる機能	
	164	図表 4-98(第4版では図表 4-96)スクリーンの主な機能	項目 削除		消臭   悪臭の原因となる成分を吸 着、分解し、消臭する機能
	165	図表 4-99(第4版では図表 4-97)ロールスクリーンの用 途 浴室、洗面所	変更	抗菌、抗力ビ加工のスクリーンが適している。 タイルなどビスを打てない場所に取り付ける 際は、テンションバーを使用する。	抗菌、防臭、防カビ加工のスクリーンが 適している。タイルなどビスを打てない 場所に取り付ける際は、テンションバー を使用する。
	166	7   ロールスクリーンのメン テナンス [洗濯上の注意点]	変更	・取扱い表示記号に従うこと。 ・スクリーンは折りたたんだり、ネットに入れた りせず洗濯槽に入れること。折りたたむと折り ぐせの原因になります。	・取扱い絵表示に従うこと。 ・スクリーンは折りたたんだり、ネットに 入れたりせず、スクリーン全体を柔らか く球状に丸めて洗濯槽に入れること。 折りたたむと折りぐせの原因になりま す。
	166	1   調光式ロールスクリーン の特性 本文 1~3 行目	では、スクリーン 変更 調光式ロールスクリーンとは、スクリーンの重 調光式ロールスクリーンとは、スクリーンの重 はりや構造によって採光を調整できるタイプ する部分 ではたスクリーンの重なりで調光する2層式タイプ から、調から、調	調光式ロールスクリーンとは、光を透過する部分と透過しない部分を組み合わせたスクリーンです。生地の重なり具合から、調光を細かく操作できる点が最大の特徴です。	
	166	図表 4-101(第 4 版では図表 4-99)調光式ロールスクリーン	追加	(元の図表 4-106「生地の重なりが箱状になった調光式ロールスクリーン」の図を移動の上、図表 4-99 に追加)	
	167	図表 4-102(第 4 版では図表 4-100)調光式ロールスクリーンの構成要素	追加	「チェーン式」を「チェーン式/2 層式タイプ」 と「チェーン式/立体構造タイプ」の2種に分けた上で、「立体構造タイプ」の図を追加 →「図表4-100 調光式ロールスクリーンの構成要素」参照(本資料17ページ⑩)	
	167	図表 4-103(第 4 版では図表 4-101)調光式ロールスクリーンの操作方法 チェーン式	変更	巻き取り操作パイプにセットされた操作チェーンを引くと調光できる。	巻き取り操作パイプにセットされた操作 チェーンを引くと生地の重なりが調整できる。
	167	図表 4-103(第 4 版では図表 4-101)調光式ロールスクリーンの操作方法	項目追加	電動式   巻き取りパイプに内蔵されたモーターの力でパイプを回転させ、スクリーンの昇降を行う。一般的な窓や大型窓の場合、複数のスクリーンを一斉に操作する、またはその中の1台を単独で操作する、あるいは複数台を操作するなど、必要に応じた開閉が可能。さらに、高窓、天窓、傾斜窓など、手の届かない場所にも適している。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	
	168	8   その他の調光式ロール スクリーン	項目削除	("生地の重なりが箱状になったタイプ"→「立体構造タイプ」として、P166 および P167 に移動の上説明追加)	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	170	3   プリーツスクリーンの操作方法 本文 1~4 行目	内容 追加	シングルタイプの操作方法には、コード式、 ループレス式(スマートコード式)、チェーン 式、コードレス式、電動式があります。窓の大 きさや使用場所に応じて最適なものを選びま す。ツインタイプの操作方法には、2本のループ状のコードで操作するコード式(ループコード式)、2本のコード(グリップ)で操作するループレス式(スマートコード式)、コードとチェーンで操作するチェーン式、1本のチェーンで操作するワンチェーン式、コードレス式があります。	シングルタイプの操作方法には、コード式、チェーン式、コードレス式、電動式があります。窓の大きさや使用場所に応じて最適なものを選びます。ツインタイプの操作方法には、2本のコードで操作するコード式(ループコード式)、コードとチェーンで操作するチェーン式、1本のチェーンで操作するワンチェーン式、コードレス式があります。
	171	図表 4-111(第 4 版では図表 4-108)プリーツスクリーンの操作方法	項目追加	ループレス式(スマートコード式)   昇降、調光をそれぞれ1本(ツインタイプは2本)の操作コード(グリップ)で操作する方式。コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で降下する。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。 →「図表4-108プリーツスクリーンの操作方法(ループレス式(スマートコード式))」参照(本資料17ページ⑪)	
	171	図表 4-111(第 4 版では図表 4-108)プリーツスクリーンの操作方法 チェーン式3行目	変更	手前に引くとスクリーンが上がり、いったん停止した後、もう一度手前に軽く引いて離すと 適度な速度でスクリーンが下降する。	手前に引くとスクリーンが上がり、いったん停止した後、もう一度手前に軽く引いて離すと自重でスクリーンが下降する。
	171	図表 4-111(第 4 版では図表 4-108)プリーツスクリーンの操作方法ワンチェーン式 5 行目	変更	チェーンを下へ少し引くと <mark>適度な速度</mark> でスク リーンが下がる。	チェーンを下へ少し引くと自重でスクリーンが下がる。
	172	図表 4-112(第 4 版では図 表 4-109)スクリーンの主な 機能 防カビ	変更	抗力ビ	防カビ
	172	図表 4-112(第 4 版では図表 4-109)スクリーンの主な機能	項目追加	UV カット   紫外線の透過を抑える機能	
	173	1   ハニカムスクリーンの特性 性 本文最後の段落	1   ハニカムスクリーンの特   削除   ハニ   ルニカムスクリーンの特   削除   ハニード   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上下   上	ハニカムスクリーンの操作方法には、コード式、チェーン式があります。昇降コードがハニカムの中を通るため、見た目もすっきりする上、コード穴からの光漏れもありません。	
	174	2   ハニカムスクリーンの構成要素本文	追加	ハニカムスクリーンは、ハニカム構造のスクリーン、スクリーンを吊すヘッドボックス、スクリーンの重りとなるボトムレール、操作コード(チェーン)などで構成されます。 2種類の異なるスクリーンを組み合わせるツインタイプの場合、スクリーンの間に中間レールが入ります。	スクリーン、スクリーンを吊すヘッドボックス、スクリーンの重りとなるボトムレール、操作コード(チェーン)などで構成さ
	174	2   ハニカムスクリーンの構成要素	追加	図表 4-112 として「ハニカムスクリーンの構成 要素 (ツインタイプ、ワンチェーン式)」の図 (第 3 版の図表 4-115 より抜粋)を掲載 →「図表 4-112 ハニカムスクリーンの構成要素 (ツインタイプ、ワンチェーン式)」参照 (本 資料 18 ページ⑫)	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	174	3   ハニカムスクリーンの操作方法 本文	追加	シングルタイプの操作方法には、コード式、 ループレス式(スマートコード式)、チェーン 式、コードレス式、電動式があります。窓の大 きさや使用場所に応じて最適なものを選びま す。ツインタイプの操作方法には、2本のループ状のコードで操作するコード式、2本のコード(グリップ)で操作するループレス式(スマートコード式)、コードとチェーンで操作するチェーン式、1本のチェーンで操作するワンチェーン式があります。	シングルタイプの操作方法には、コード式、チェーン式、コードレス式、電動式があります。窓の大きさや使用場所に応じて最適なものを選びます。ツインタイプの操作方法には、2本のコードで操作するコード式、コードとチェーンで操作するチェーン式、1本のチェーンで操作するワンチェーン式があります。
	175	図表 4-115(第 4 版では図表 4-113) ハニカムスクリーンの操作方法	項目追加	ループレス式(スマートコード式)   昇降、調光をそれぞれ1本(ツインタイプは2本)の 操作コード(グリップ)で操作する方式。コード (グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上 がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引く と適度な速度で降下する。ループ状のコード やチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	
	175	図表 4-115(第 4 版では図表 4-113) ハニカムスクリーンの操作方法 チェーン式	変更	手前に引くとスクリーンが上がり、いったん停止した後、もう一度手前に軽く引いて離すと 適度な速度でスクリーンが下降する。	
	175	図表 4-115(第 4 版では図表 4-113) ハニカムスクリーンの操作方法 ワンチェーン式	変更	チェーンを下へ少し引くと <mark>適度な速度</mark> でスクリーンが下がる。	チェーンを下へ少し引くと自重でスクリーンが下がる。
	176	5   ハニカムスクリーンの機 能 本文最後	追加	さらに断熱性を高めるためにサイドフレーム を取り付ける場合もあります。	
	176	5   ハニカムスクリーンの機能	図 追加	(ハニカムスクリーンのサイドフレームの図追加) →「図表 4-115 ハニカムスクリーンのサイドフレーム」参照(本資料 18 ページ(3))	
	176	図表 4-116(第 4 版では図 表 4-114) スクリーンの主 な用途	項目 追加	UV カット   紫外線の透過を抑える機能	
	177	1   パネルスクリーンの特性 本文8~16行目	削废更	(レール方式削除につき文章変更) スクリーンの取り付けは、レールの溝に取り付けられたスライダー(キャリア)に生地を取り付け、そのスライダーが左右にスライドして開閉を行うパネルトラック方式が一般的です。スクリーンの開閉は、スクリーンを左右どちらか一方に開く片開きと、スクリーンを中央から左右に開く両開きがあります。	スクリーンの取り付け方法には、パネルトラック方式とレール方式があります。 パネルトラック方式とは、レールの溝に 取り付けられたスライダー(キャリア)に 生地を取り付け、そのスライダーが左右 にスライドして開閉を行う方式のことで す。多くの製品はこの方式を採用して います。一方、レール方式は既設のカーテンレールを活用し、生地(パネル) のみをレールのランナーに取り付ける 方式です。また、スクリーンの開閉は、 スクリーンを左右どちらか一方に開く片 開きと、スクリーンを中央から左右に開 く両開きがあります。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	177	2   パネルスクリーンの構成 要素 本文3~9 行目	削除変更	(レール方式削除につき文章変更) パネルトラック方式の場合、パネルは2~8枚 程度まで取り付け可能です。取り付ける枚数 によってレールを取り付けるのに必要な奥行 きが異なる場合があるため、注意が必要で す。	パネルトラック方式の場合、パネルは 2 ~8 枚程度まで取り付け可能で、取り付ける枚数によって使用するレールの種類や本数、レールを取り付けるのに必要な奥行きが異なるので注意が必要です。レール方式の場合は、既設の 2 本のレールにパネル上部左右のフックを掛け、左右に振り分けて使用するタイプが一般的です。この場合、取り付けるパネルの枚数は 4 枚以内に抑えるようにします。
	179	4   パネルスクリーンの素材 本文最後	削除		ほかにすだれタイプなどもあります。
	181	1   アルミ製ベネシャンブラ インドの特性 本文 6~7 行目	変更 (一部 削除)	操作方法は、ワンポール式、コード&ロッド 式などバリエーションが豊富で、一般的な窓 のほか天窓や高窓、浴室の窓にも取り付け 可能な製品があります。	操作方法は、ワンポール式、コード&ロッド式、コード&コード式などバリエーションが豊富で、一般的な窓のほか天窓や高窓、浴室の窓にも取り付け可能な製品があります。
	183	図表 4-125(第 4 版では図表 4-123) アルミ製ベネシャンブラインドの操作方法	項目追加	ループレス式(スマートコード式)   昇降コードと操作ポールが一体になったタイプ。ポールを回すことで、スラットの角度調整ができる。昇降コードがループ状になっておらず、コード(グリップ)を繰り返し引くことでブラインドが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で下がる。ループ状のコードがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	
	183	図表 4-125(第 4 版では図表 4-123) アルミ製ベネシャンブラインドの操作方法	項目 削除		コード&コード式   昇降コードでブラインド全体の昇降、開閉コードでスラットの角度調整を行う方式。昇降コードを引くとブラインドが上がり、任意の位置でストッパーを解除するとブラインドの自重で下がる。2本の開閉コードを1本ずつ引くことでスラットが回転する。
	183	図表 4-125(第 4 版では図表 4-123) アルミ製ベネシャンブラインドの操作方法 電動式	追加	ヘッドボックスに内蔵されたモーターの力でブラインドの昇降やスラットの回転を行う。スイッチやリモコンで操作する。複数のブラインドを一斉に操作する、または単独で操作するなど、必要に応じた操作が可能。コンセントに差し込むだけで使用可能な製品もある。大きな窓や手の届かない高窓に適している。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	ヘッドボックスに内蔵されたモーターの 力でブラインドの昇降やスラットの回転 を行う。スイッチやリモコンで操作する。 複数のブラインドを一斉に操作する、ま たは単独で操作するなど、必要に応じ た操作が可能。コンセントに差し込む だけで使用可能な製品もある。大きな 窓や手の届かない高窓に適している。
	184	図表 4-126 アルミ製ベネ シャンブラインドの用途	変更	(アーチ形対応の図を削除し、円形窓対応、 傾斜台形窓対応の図を追加) →「図表 4-126 アルミ製ベネシャンブライン ドの用途」参照(本資料 18 ページ⑭)	
	184	7   アルミ製ベネシャンブラ インドのメンテナンス 本文7行目	追加	耐水性のあるタイプは外して丸洗いすること も可能です。また、スラットが折れてしまって も、スラットを1枚ずつ横方向に引き抜いて簡 単に交換できるタイプもあります。	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	185	図表 4-128 アルミ製ベネ シャンブラインドの用途 小窓	変更	小窓、スリット窓   巾 100 mmから製作ができるので、小窓や細長い窓にも取り付けが可能。	小窓   巾150mmから製作ができるので、小窓や細長い窓にも取り付けが可能。
	185	図表 4-128 アルミ製ベネ シャンブラインドの用途 変形窓	追加	円形やアーチ形、台形、 <mark>傾斜台形</mark> の窓に対 応するブラインドがある。	円形やアーチ形、台形の窓に対応する ブラインドがある。
	186	3   木製ブラインドの操作方 法 本文 1~2 行目	削除変更	木製ブラインドの操作方法には、ドラム式、コード&ロッド式、電動式の3つがあります。	木製ブラインドの操作方法には、ドラム式、コード&コード式、コード&ロッド式、電動式の4つがあります。
	187	図表 4-131 木製ブラインド の操作方法 ドラム式(ループコード式)	変更	ドラム式(ループコード式、チェーン式)   ヘッドボックス内に設置されたドラムで、昇降コードを巻き取る方式。ループ状の操作コード(チェーン)を引くことで回転と昇降が行える。操作コード(チェーン)を引くと最初にスラットが回転し、その後にブラインドが昇降する。コードを一定量引くと自動で下降する製品もある。小さな力で昇降が可能なため、木製ブラインドではドラム式を採用するケースが多い。	ドラム式(ループコード式)   ヘッドボックス内に設置されたドラムで、昇降コードを巻き取る方式。ループ状の操作コードを引くことで回転と昇降が行える。昇降コードを引くと最初にスラットが回転し、その後にブラインドが昇降する。コードを一定量引くと自動で下降する製品もある。小さな力で昇降が可能なため、木製ブラインドではドラム式を採用するケースが多い。
	187	図表 4-131 木製ブラインド の操作方法 コード&コード式	項目削除		コード&コード式   昇降コードでブラインド全体の昇降、開閉コードでスラットの角度調整を行う方式。昇降コードを引くとブラインドが上がり、任意の位置でストッパーをかけると停止、ストッパーを解除するとブラインドの自重で下がる。2本の開閉コードを1本ずつ引くことでスラットが回転する。
	187	図表 4-131 木製ブラインド の操作方法 電動式	追加	ヘッドボックスに内蔵されたモーターの力でブラインドの昇降やスラットの回転を行う。スイッチやリモコンで操作する。複数のブラインドを一斉に操作する、または単独で操作するなど、必要に応じた操作が可能。コンセントに差し込むだけで使用可能な製品もある。大きな窓や手の届かない高窓に適している。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	ヘッドボックスに内蔵されたモーターの 力でブラインドの昇降やスラットの回転 を行う。スイッチやリモコンで操作する。 複数のブラインドを一斉に操作する、ま たは単独で操作するなど、必要に応じ た操作が可能。コンセントに差し込む だけで使用可能な製品もある。大きな 窓や手の届かない高窓に適している。
	188	4   木製スラットの特徴 本文9行目	削除	木製スラットの素材には、バスウッド、桐、竹などといった天然木を使用したものが一般的ですが、環境に配慮して集成材を使ったものもあります。	木製スラットの素材には、バスウッド、スギ、ヒノキ、桐、竹などといった天然木を使用したものが一般的ですが、環境に配慮して集成材を使ったものもあります。
	188	図表 4-132 木製ブラインド の用途 小窓	変更	中 250 mm、高さ 300 mm程度からオーダー可能。	巾 280 mm、高さ 300 mm程度からオーダ 一可能。
	188	図表 4-132 木製ブラインド の用途 高層マンションやホテルな ど	変更	木製ブラインドは、消防法施工令における防 炎防火対象外製品のため設置が可能。	防炎性が必要な場所では、防炎性を 備えた木質感のある樹脂製スラットを選 ぶ。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4章	189	1   バーチカルブラインドの 特性 本文 13~17 行目	追加	バーチカルブラインドにはシングルタイプのほか、透過性のあるルーバー(レース)と透過性のないルーバー(ドレープ)の2種類を組み合わせたペアタイプがあります。ペアタイプには2種類のルーバーを交互に配したアンサンブルスタイル(センターレーススタイル)、左右に配したツーウェイスタイルがあります。	バーチカルブラインドにはシングルタイプのほか、透過性のあるルーバーと透過性のないルーバーを組み合わせたペアタイプがあります。ペアタイプには2種類のルーバーを交互に配したアンサンブルスタイル(センターレーススタイル)、左右に配したツーウェイスタイルがあります。
	189	図表 4-133 バーチカルブ ラインド	図 追加	(ペアタイプ アンサンブルスタイル、ツーウェイスタイル、バックレーススタイルの図追加) →「図表 4-133 バーチカルブラインド」参照 (本資料 19 ページ(§)	
	190	図表 4-135 バーチカルブ ラインドの構成要素 < コー ド式 (コード&バトン式また はループコード式) >	変更	図の更新 →「図表 4-135 バーチカルブラインドの構成要素 < コード式 (コード & バトン式またはループコード式) 」参照 (本資料 19 ページ (6))	
	191	図表 4-136 バーチカルブ ラインドの操作方法 電動式	追加	小型モーターでルーバーの開閉と角度調整を行う方式。操作はリモコンやスイッチで行う。また近年では、Wi-Fi 環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	小型モーターでルーバーの開閉と角 度調整を行う方式。操作はリモコンやス イッチで行う。
	192	①ルーバーのサイズ	変更	バーチカルブラインドのルーバーの巾は、75 mm、80 mm、100 mmが主なサイズとなっていま す。	バーチカルブラインドのルーバーの巾は、50mm、75mm、80mm、90mm、100mm、127mmが主なサイズとなっています。
	193	図表 4-141 ルーバーの主 な機能 抗菌防臭	変更	抗菌   細菌の繁殖を抑える機能	抗菌防臭   細菌の繁殖を抑え、防 臭効果を持たせる機能
	193	図表 4-141 ルーバーの主 な機能 防カビ	変更	防カビ	抗カビ
	193	図表 4-141 ルーバーの主 な機能	項目 追加	水拭き   水拭きすることができる機能	
	193	図表 4-141 ルーバーの主 な機能 防汚	項目削除		防汚   汚れを付きにくくする機能
	193	図表 4-142 バーチカルブ ラインドの用途 変形窓	変更	三角窓や傾斜台形窓に取り付け可能。	三角や台形の平窓、傾斜台形窓には 傾斜窓タイプで対応する。
	194	第6節 窓装飾エレメントと子 安全対策 新設	どもの	→本資料 20~21 ページ⑰参照	
	195	1   外付けブラインド 本文2行目	変更	遮熱機能に優れ、日射熱を約80%遮る効果があります。	遮熱機能に優れ、太陽の輻射(ふくしゃ)熱を約80%遮る効果があります。
	198	[2]間仕切り	項目 追加	4   ビニールカーテン 視界を保ったまま間仕切りができるビニール カーテンは、店舗、工場などにおける間仕切り用途のほか、近時のウイルス対策として、医 療機関、商業施設などでも使用されています。ビニールシート自体が抗ウイルス機能を 有するものもあります。	
	199	[1]法定表示 本文5行目	変更	主な義務表示に、防炎ラベル、 <mark>取扱い表示 記号</mark> などがあり、任意表示には原産国表示 などがあります。	主な義務表示に、防炎ラベル、取扱い 絵表示などがあり、任意表示には原産 国表示などがあります。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4章	202	2   取扱い絵表示	変更	2   取扱い表示記号	2   取扱い絵表示
	205 206	図表 4-156(第 4 版では図表 4-159) 主な自主マーク	変更	(「防炎マーク」「制電マーク」「ウォッシャブルマーク」「はっ水マーク」「遮熱マーク」「UVカットマーク」「遮光マーク」内容変更) →「図表 4-159 主な自主マーク」参照 (本資料 22ページ®)	
	205	図表 4-156(第 4 版では図表 4-159) 主な自主マーク UV カットマーク	変更	紫外線の透過率を低減し、家具や床材の日焼け退色を <mark>軽減する</mark> 加工を施したシアーカーテン、布製ブラインド類のうち、紫外線遮蔽率が判定基準(70%)に適合する製品に「UV カット」マークを表示できる。	紫外線の透過率を低減し、家具や床材の日焼け退色を防ぐ加工を施したシアーカーテン、布製ブラインド類のうち、紫外線遮蔽率が判定基準(70%)に適合する製品に「UV カット」マークを表示できる。
	206	図表 4-156(第 4 版では図 表 4-159) 主な自主マーク SEK マーク	追加	青色は抗菌加工、赤・オレンジは制菌加工、紫は光触媒抗菌加工、黄色・黒色は抗ウイルス加工、緑は抗カビ加工と色を分けて表示する。	青色は抗菌加工、赤・オレンジは制菌 加工、紫は光触媒抗菌加工、黄色・黒 色は抗ウイルス加工と色を分けて表示 する。
5章	218	[1]正面付け ②装飾性カーテンレール、 ダブル付け	変更	(②装飾性カーテンレール、ダブル付け 図 変更) →「図表 5-28 装飾性カーテンレール、正面付け」参照(本資料 22 ページ(9))	
	218	[1]正面付け ③装飾性カーテンレール+ 機能性カーテンレール	変更	(③装飾性カーテンレール+機能性カーテンレール 図変更) →「図表 5-29 装飾性カーテンレール+機能性カーテンレール、正面付け」参照(本資料 22ページ⑩)	
	219	[1]正面付け ⑤機能性カーテンレール、 ダブル付け	変更	(⑤機能性カーテンレール、ダブル付け 図 変更) →「図表 5-31 機能性カーテンレール、正面 付け」参照(本資料 22 ページ②)	
	219	[2]天井付け ⑦カーテンボックス内レー ル、またはボックスレール、 ダブル付け	変更	(⑦カーテンボックス内レール、またはボックスレール、ダブル付け 図変更) →「図表 5-33 ⑦カーテンボックス内レール、またはボックスレール、天井付け」参照(本資料 22 ページ22)	
	220	[2]天井付け ⑨機能性カーテンレール、 ダブル付け	変更	(⑨機能性カーテンレール、ダブル付け 図変更) →「図表 5-35 ⑨機能性カーテンレール、天井付け」参照(本資料 23 ページ図)	
	220	Case Study カーテンを取り         付ける場合の採寸前の確認事項         ②フックのタイプ	変更	(図表 5-38、5-39 図変更) →「Case Study ②フックのタイプ(図表 5-38 A フック 図表 5-39 B フック)」参照(本資料 23 ページ@)	
	227	1   巾枚数とひだ倍率 本文 5~8 行目	変更	例えば、ひだ倍率が 2 倍の場合、巾 100 cm のカーテンに仕上げるには 200 cm分の巾の 生地が必要ということになります。実際は 100 cm巾の生地の場合は、2 枚をはぎ合わせて 使います。ひだ倍率が高いほど、ドレープ性 が豊かになります。	例えば、ひだ倍率が 2 倍の場合、100 cm巾のカーテンに仕上げるには 200 cm の生地が必要ということになります。実際は 100 cmの生地を 2 枚はぎ合わせて使います。ひだ倍率が高いほど、ドレープ性が豊かになります。
	230	図表 5-50 カン下寸法と総 丈寸法	変更	(図変更) →「図表 5-50 カン下寸法と総丈寸法」参照 (本資料 23 ページ為)	
	231	<b>※</b> 15	変更	通常、1 本あたり 0.2m 程度プラスする。	通常、1 本あたり 0.1~0.2m 程度プラスする。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
5 章	231	②柄物の生地の場合 *説明	変更	*召し合わせ、サイドへム、リターンに必要な生地巾を考慮しない場合の計算式 *生地を発注する際、特に複数箇所分の製作の場合、柄の頭出しをそろえる必要がある。そのため生地が出荷される際に柄の途中から裁ち切られ、柄出しの生地が不足することのないように、要尺には1縦リピート分をプラスしておくことを基本とする	*召し合わせ、サイドへム、リターンに必要な生地巾を考慮しない場合の計算式 *生地を発注する際は、柄出し指定の場合、柄の途中から裁ち切って生地が不足しないように、要尺には1縦リピート分プラスしておくことが基本
	243	9   タッセル 本文 7~12 行目	変更	型紙から不織布などで芯地をつくり、生地で挟んで縫製します。共布で製作する場合、タッセルの要尺として20 cm加えます。 タッセルを掛ける房掛けは、一般的にカーテンボトムから2分の1~3分の1程度の位置に取り付けるとバランスがよく見えます。	型紙から不織布などで芯地をつくり、生地で挟んで縫製します。共布で製作する場合、タッセルの要尺として 10~20 cm加えます。 タッセルを掛ける房掛けは、一般的にカーテントップから3分の2、カーテンボトムから3分の1程度の位置に取り付けるとバランスがよく見えます。
6 章	258	1   繊維 本文 9~14 行目	変更	化学繊維のナイロン、ポリエステルは主にフィラメントにして使い、レーヨン、アクリルとポリエステル、ナイロンの一部はステープルで使います。 窓装飾エレメントに使用される繊維は主にポリエステルで、そのほかに綿、麻、レーヨン、アクリル、モダクリルなどがあります。	化学繊維のナイロン、ポリエステルはフィラメントにして使い、レーヨン、アクリル、ポリエステルなどはステープルで使います。 窓装飾エレメントに使用される繊維は主にポリエステルで、そのほかに綿、麻、レーヨン、アクリル、アクリル系などがあります。
	259	図表 6-14 繊維の分類	変更	(図表内容変更) →「図表 6-14 繊維の分類」参照(本資料 24 ページ‰)	
	260	①天然繊維 本文	変更	天然繊維には、綿や麻などの植物繊維、絹や羊毛などの動物繊維があります。	天然繊維には、有機的なものとして綿 や麻などの植物繊維、絹や羊毛などの 動物繊維があり、無機的なものとして鉱 物繊維があります。
	261	図表 6-16 主な化学繊維 の種類 アクリル系	変更	モダクリル (modacrylic) ポリアクリロニトリルとポリ塩化ビニルの重合の難燃繊維。ステープルで使われることが多い。アクリルと比べると寸法安定性、耐光堅ろう度がよい。防炎規制のある場所でのカーテンファブリックスとして使われる。2022年1月より、「アクリル系」は「モダクリル」と用語変更された。	アクリル系 (modacrylic)   ポリアクリロニトリルとポリ塩化ビニルの重合の難燃繊維。ステープルで使われることが多い。アクリルと比べると寸法安定性、耐光堅ろう度がよい。
	280	[8]椅子張り	変更	椅子カバー	椅子張り

#### ①図表 1-5 ウィンドートリートメントの市場規模

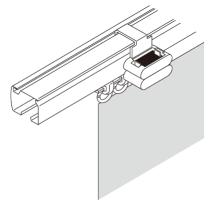
近年のウィンドートリートメントの市場規模(卸売ベース) は下表の通り\*\*1であり、ほぼ横ばいに推移しています。 ※1 「2020年度のインテリアファブリックス事業の概況<市場規模の策定>」 一般社団法人日本インテリアファブリックス協会による。

	2017 年度 (H29)	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)
カーテン	1108.0	1051.3	1030.2	996.2
ブラインド類	295.9	294.8	299.0	296.3
スクリーン類	360.8	364.1	377.5	370.6
カーテンレール類	234.6	229.2	232.4	221.0
ウィンドートリートメント合計	1999.3	1939.4	1939.1	1884.1

図表1-5 ウィンドートリートメントの市場規模(卸売ベース)

単位:億円

#### ②図表 4-70 カーテンストッパー



図表4-70 カーテンストッパー

# ③図表 4-72 装飾性カーテンレール (シーリングレール追加)



図表4-72 装飾性カーテンレール

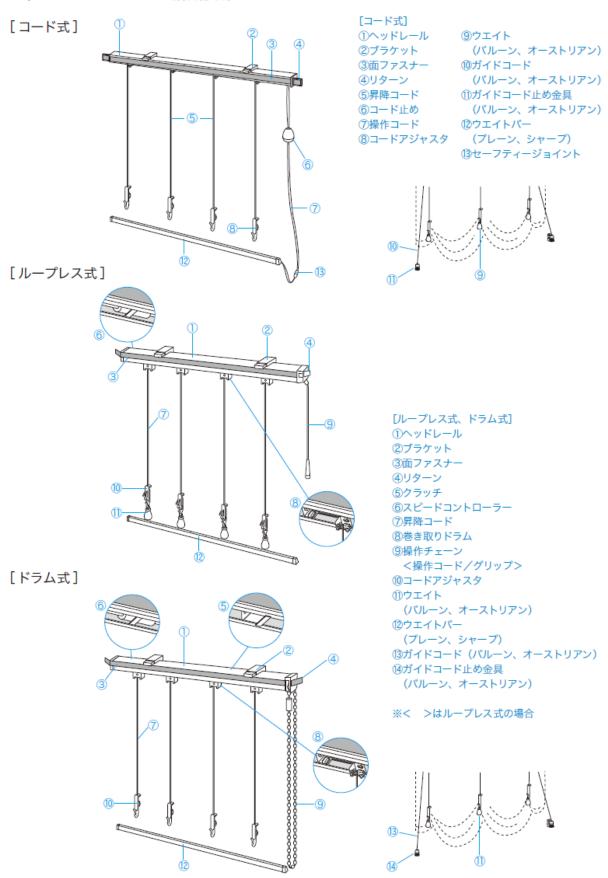
# ④図表 4-72 フックの種類



A位置 B位置

# ⑤図表 4-80 ローマンシェードの構成要素 (シングルタイプ)

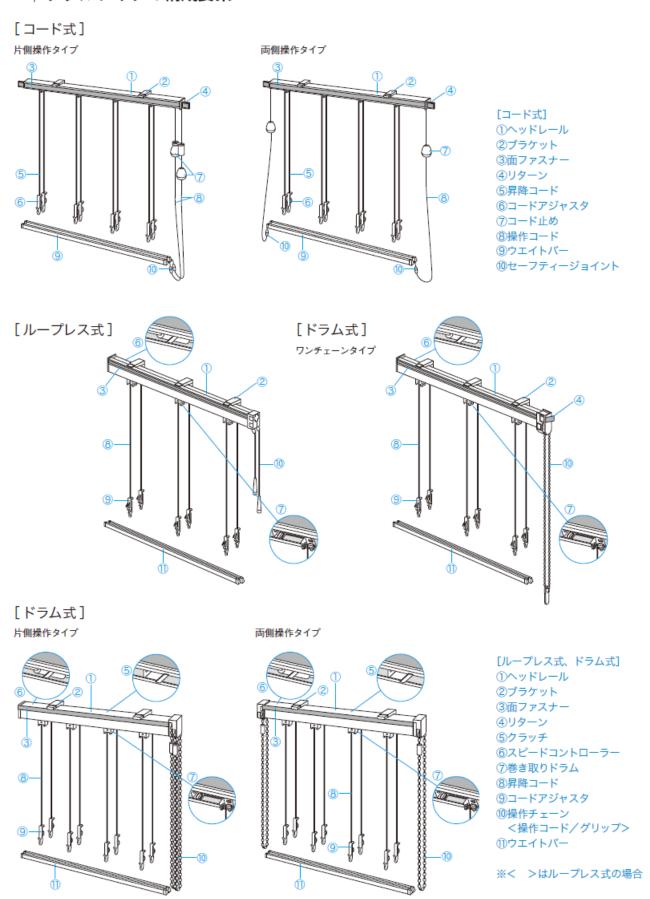
## 1 シングルタイプの構成要素



図表4-80 ローマンシェードの構成要素 (シングルタイプ)

#### ⑥図表 4-81 ローマンシェードの構成要素 (ダブルタイプ)

# 2 | ダブルタイプの構成要素



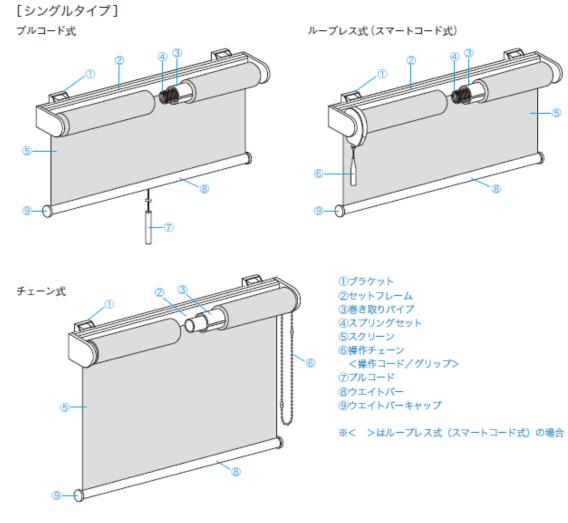
図表4-81 ローマンシェードの構成要素 (ダブルタイプ)

# ⑦図表 4-82 ローマンシェードの操作方法

図表4-82 ローマンシェードの操作方法

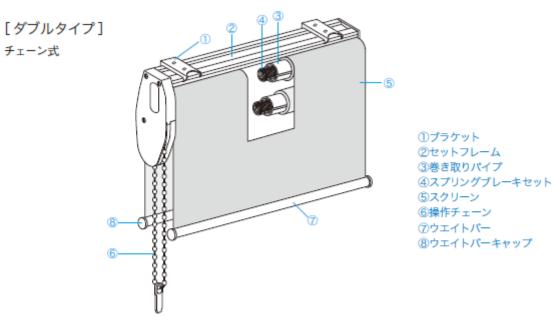
コード式	ヘッドレールに通した昇降コードを直接操作し、ストッパーで停止させる方式。昇降コードを直接引っ張るため、大きな窓や重い素材の場合は操作が重く感じられる。小窓や軽い素材に適した操作方式。ダブルタイプの場合は前後の2枚のシェードを2本の操作コードで別々に操作する。片側操作タイプと両側操作タイプがある。
ループレス式	左右どちらかにある操作コード (グリップ) でシェードを昇降させる方式。コード (グリップ) を繰り返し引くことでシェードが上がり、下げるときはコード (グリップ) を少し引くとクラッチが解除され、適度な速度で降下する。操作が軽く、片手で操作可能。ループ状のコードやチェーンがないため、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。
ドラム式	ヘッドレールに内蔵されたドラムで昇降コードを巻き取り、クラッチ (ストッパー)で停止させる方式。操作チェーンやループコードを引いて操作する。コード式と比べて軽い力でスムーズに操作できるため、大型の窓や重量があるファブリックスを使用する場合に適している。ダブルタイプの場合は、前後2枚のシェードを1本の操作チェーンで操作するワンチェーン式が一般的。手前のシェードの昇降はチェーンの手前側を引くことによって行い、奥側のシェードの昇降はチェーンの奥側を引くことによって行う。
ギア式	チェーンを引くことで昇降し、いずれも手を離せばその場で停止する簡単操作のため、不 特定多数のユーザーが使用する場所に適している。
電動式	ヘッドレールに内蔵されたモーターの力でドラムを回転させて昇降を行う。スイッチやリモコンで操作する。複数のシェードを一斉に、または単独で操作するなど、必要に応じた開閉が可能。大型窓に取り付ける場合や重量のあるシェード、また手の届かない高窓などに適している。コンセントに差し込むだけで使用可能な製品もある。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。

#### ⑧図表 4-93 ロールスクリーンの構成要素(シングルタイプ)



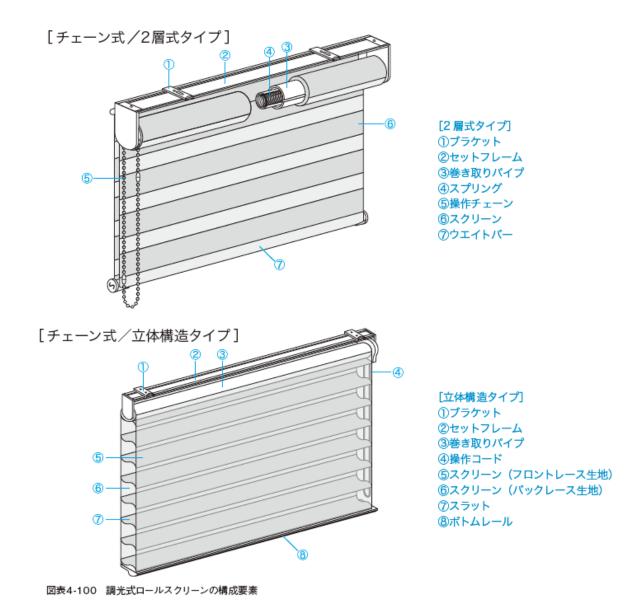
図表4-93 ロールスクリーンの構成要素(シングルタイプ)

#### ⑨図表 4-94 ロールスクリーンの構成要素 (ダブルタイプ)

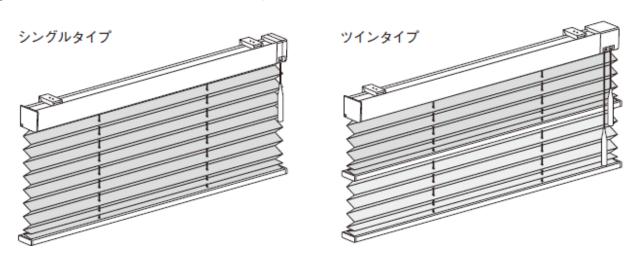


図表4-94 ロールスクリーンの構成要素 (ダブルタイプ)

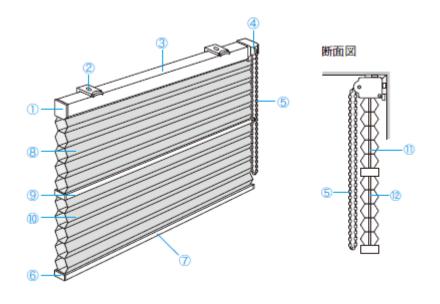
## ⑩図表 4-100 調光式ロールスクリーンの構成要素



#### ①図表 4-108 プリーツスクリーンの操作方法 (ループレス式 (スマートコード式))



### ②図表 4-112 ハニカムスクリーンの構成要素 (ツインタイプ、ワンチェーン式)



①ヘッドレールキャップ ②プラケット ③ヘッドレール ④操作プーリー ⑤操作チェーン ⑥ボトムレールキャップ ⑦ボトムレール ⑧上部スクリーン ⑨中間レール ⑪下部スクリーン ⑪朝光コード ⑫昇降コード

図表4-112 ハニカムスクリーンの構成要素 (ツインタイプ、ワンチェーン式)

# ③図表 4-115 ハニカムスクリーンのサイドフレーム



図表4-115 ハニカムスクリーンの サイドフレーム

## (4) 図表 4-126 アルミ製ベネシャンブラインドの用途 (円形窓対応) (傾斜台形窓対応)





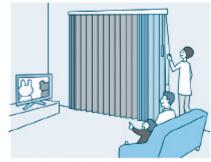
# ⑤図表 4-133 バーチカルブラインド



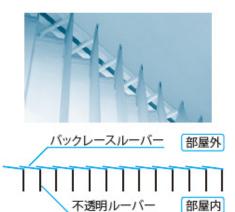


ペアタイプ アンサンブルスタイル





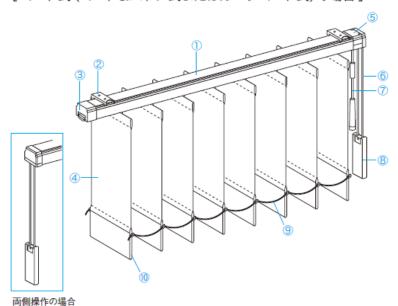
ペアタイプ ツーウェイスタイル



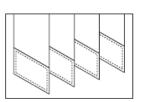
ペアタイプ バックレーススタイル

# (B)図表 4-135 バーチカルブラインドの構成要素 <コード式 (コード&バトン式まだはループコード式) >

#### [コード式 (コード&バトン式またはループコード式)の場合]



図表4-135 バーチカルブラインドの構成要素<コード式 (コード&バトン式またはループコード式)>



ボトムコードなしの場合

①ヘッドレール ②ブラケット ③エンドキャップ ④ルーバー ⑤コントロールユニット ⑥開閉コード ⑦回転操作棒 ⑧コードウエイト ⑨ボトムコード (スペーサーコード) ⑩パランスウエイト

#### ①第6節 窓装飾エレメントと子どもの安全対策



# 窓装飾エレメントと子どもの安全対策

家庭内での窓装飾エレメントにかかわる子どもの事故を回避するために、チャイルドセーフティーに配慮した窓装飾エレメントや、安全対策の部品があります。子どもの行動は予想しづらいため、思わぬ行動で事故につながらないように、小さな子どものいる家庭には対策品を提案する必要があります。

安全対策製品や部品を使用して も、事故を完全に回避できるわけ ではありません。小さな子どもの いる家庭では、十分に注意するこ とを説明する必要があります。よ た、ベッドやソファの上に登れ 操作チェーンやコードに手が届 き、事故につながる恐れがあります。 ソファやベッドの配置につい ても注意喚起が求められます。

#### 1 | チャイルドセーフティー製品

子どもが遊んだりして体に巻き付けて事故につながる恐れの ある、ループ状の操作チェーンやコードを省いた製品です。

図表4-144 主なチャイルドセーフティー製品

操作タイプ	安全対策の内容	対応窓装飾エレメント
ループレス式 (スマートコ ード式)	操作チェーン、コードがルー プ状になっていない	ローマンシェード/ロー ルスクリーン/プリーツ スクリーン/ハニカムス クリーン/アルミ製ベネ シャンブラインド
コードレス式	操作チェーン、コードに代わ り、ハンドルなどで操作を行 う	ロールスクリーン/プ リーツスクリーン/ハ ニカムスクリーン
バトン式	操作チェーン、コードに代わ り、バトンで操作を行う	バーチカルブラインド /パネルスクリーン
電動式	リモコンやスイッチ、スマート スピーカーなどで操作を行う	すべての電動式窓装飾 エレメント

#### 2 一定の力がかかると外れる安全対策部品

万が一、操作チェーンやコードに子どもの手や頭がからまっても、一定の力が加わると外れる部品です。

図表4-145 主な安全対策部品(一定の力がかかると外れるもの)

部品名	安全対策の内容	対応窓装飾エレメント
セーフティージョイ ント		ローマンシェード/プリ ーツスクリーン/ハニカ ムスクリーン/アルミ製 ベネシャンブラインド/ 木製ブラインド

部品名	8	安全対策の内容	対応窓装飾エレメント
コード止め (セーフティーイコライ ザー)	開催コード 選重	昇降コードに一定の 力がかかると外れる 仕様	ローマンシェード/プリ ーツスクリーン/ハニ カムスクリーン/アル ミ製ベネシャンブライ ンド/木製ブラインド
セーフティーチェーン セーフティーコネクター		操作チェーンに一定 の力がかかると外れ る仕様	すべてのチェーン式窓 装飾エレメント
セーフティープーリー		操作チェーンに一定 の力がかかると分離 する仕様	ロールスクリーン <i>/</i> 調 光式ロールスクリーン
テープ用リング コードアジャスタ (セーフティータイプ)	テープ用 リング コードア ジャスタ	幕体裏の昇降コード に一定の力がかかる と外れる仕様	ローマンシェード

## 3 |操作チェーンやコードを束ねる安全対策部品

操作チェーンやコードを東ねる部品です。子どもの手が届か ない位置に束ねておくことで、事故を防止する効果があります。

図表4-146 主な安全対策部品 (チェーンやコードを束ねるもの)

部品名		安全対策の内容	対応窓装飾エレメント
コードクリップ		操作チェーンやコードを子どもの手が届かない位置に束ねておく部品	すべてのチェーン、コード式窓装飾エレメント
コードフック	↑パーチカルブラインド用 +ベネシャンブラインド用	操作チェーンやコー ドを子どもの手が届 かない位置に掛けて おく部品	アルミ製ベネシャンブ ラインド/バーチカル ブラインド
コードウエイト		操作チェーンやコードを子どもの手が届かない位置に束ねておく部品	バーチカルブラインド

#### 18図表 4-159 主な自主マーク

(一般社団法人日本インテリア協会管理のマーク)

防炎マーク

制電マーク

ウォッシャブルマーク

はっ水マーク







遮熱マーク

UV カットマーク

遮光マーク

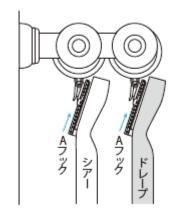






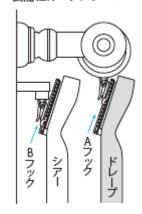
19図表 5-28 装飾性カーテンレール、 正面付け

②装飾性カーテンレール、ダブル付け



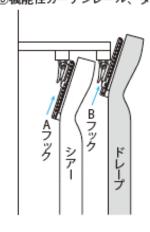
②図表 5-29 装飾性カーテンレール+機能性 カーテンレール、正面付け

③装飾性カーテンレール+ 機能性カーテンレール



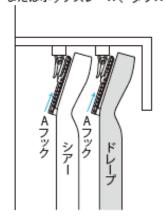
②図表 5-31 機能性カーテンレール、 正面付け

⑤機能性カーテンレール、ダブル付け



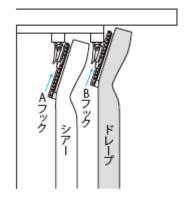
②図表 5-33 カーテンボックス内レール、 またはボックスレール、天井付け

⑦カーテンボックス内レール、 またはボックスレール、ダブル付け



### ②図表 5-35 機能性カーテンレール、天井付け

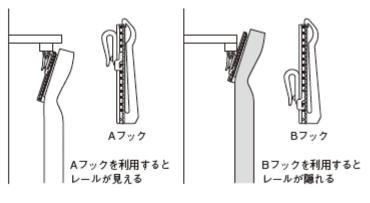
#### ①機能性カーテンレール、 ダブル付け



## ② Case Study ② フックのタイプ (図表 5-38 A フック 図表 5-39 B フック)

#### ②フックのタイプ

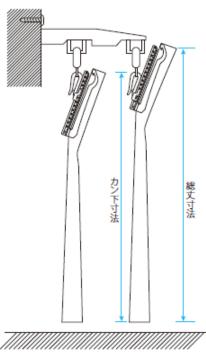
AフックかBフックかを確認します。Aフックだとレールが見え、 Bフックだと隠れます。



図表5-38 Aフック

図表5-39 Bフック

# ②図表 5-50 カン下寸法と総丈寸法



図表5-50 カン下寸法と総丈寸法

# ②6図表 6-14 繊維の分類

図表6-14 繊維の分類

図表6-14 繊維の	分類			
	再生繊維		(レーヨン)(RAYON)【ビスコースレーヨン】、 (ポリノジック)	
		セルロース系	(キュプラ)【銅アンモニアレーヨン】	
			(リヨセル)【精製セルロース】	
		セルロース系	(アセテート) (ACETATE)	
	半合成繊維		(トリアセテート)	
		蛋白質系	(プロミックス)	
		脂肪族ポリアミド系 (ナイロン) (NYLON)	ナイロン 6、ナイロン 66	
		芳香族ポリアミド系(	アラミド)	
		ポリビニルアルコール	系(ビニロン)	
n . Meanage		ポリ塩化ビニリデン系 (ビニリデン)		
化学繊維		ポリ塩化ビニル系(ポリ塩化ビニル)		
	合成繊維	ポリエステル系 (ポリエステル)	(ポリエチレンテレフタレート)、(ポリトリメチレンテレフタレート)、(ポリブチレンテレフタレート)、(ポ リアリレート系繊維)	
			(ポリ乳酸)	
		ポリアクリロニトリル系(アクリル)、(モダクリル)、(アクリレート)		
		ポリエチレン系 (ポリエチレン)		
		ポリプロピレン系 (ポリプロピレン)		
		ポリウレタン系(ポリウレタン)【スパンデックス】		
		その他	(ふっ素系繊維)、(ポリフェニレンサルファイド繊維)、 (ポリイミド)、(アクリレート系繊維)、(エチレンビニルアルコール繊維)、(ポリエーテルエステルエラストマー)	
	無機繊維	(ガラス繊維)、(炭素繊維)、(金属繊維)		
	结构继续	綿(コットン)(COTT	TON)	
	植物繊維	麻	亜麻(リネン)、ちょ麻(ラミー)	
天然繊維	動物繊維	毛	羊毛(ウール)(WOOL)、アンゴラ、カシミヤ、モヘヤ、 らくだ(キャメル)、アルパカ	
		絹(シルク)(SILK)		
( ) A HOLLOGO A O ME WITHER TO WINDER MY ONE A WAY AND INCOME.				

[	)	はJIS L	0204-	2 (繊維用語-	-原料部門-	第2部化	学繊維)	に記載の用	H
---	---	--------	-------	----------	--------	------	------	-------	---

<sup>【】</sup>は別名

<sup>( )</sup>は対応英語